



入学おめでとう

4月6日、18名の新入生が入学式を迎えました。新型コロナウイルス感染症防止のため、参加人数を絞っての実施としましたが、マスク着用や換気、間隔等に注意したうえで、本年度は在校生を代表して6年生も参加し、新入生を迎えることができました。横山徳音さん曲山綾香さんが、「1年生を迎える言葉」で学校の楽しさを伝え、歓迎しました。

ちょっぴり緊張しながらも元気に入場し、担任の先生の呼名にも元気に返事をしていました。お話もしっかり聞くことができ、これからの学校生活に瞳を輝かせていました。成長が楽しみです。



入場：しっかりとした歩みで元気に入場

校長先生から3つのお話 ～式辞より～

◇あいさつ、返事をしっかりとしましょう。

あいさつはみんなを笑顔にします。返事は元気が伝わります。

◇お話をよく聞きましょう。

お勉強は、お話をよく聞いて、よく考えることが大切です。

◇「いのち」を大切にしましょう。

手洗いやマスクをして体を守り、交通ルールを守って安全に過ごしましょう。

着任式・始業式

着任式、始業式では、6年生が代表して、歓迎の言葉や抱負を発表しました。堂々と、話しかける相手を見つめて話す姿に最高学年としての自覚を感じました。



期待が高まります。

新学期を迎えて：角田偉知郎



お迎への言葉

児童代表 六年 海野 功生

吾妻山の雪も解け始め、木々の緑も色鮮やかに輝く季節になりました。

ようこそ歴史と伝統を誇る福島第一小学校へおいでくださいました。今日、八名の先生方をお迎えできてとてもうれしく思っています。

そこで、新しい先生方に福島第一小学校を紹介します。福島第一小学校には、『終始一誠意』という校訓があります。これは、

『人が見ていようがいまいが、それと関係なく、いつでも、どこでも、終生変わることなく、誠意を第一として生きぬく。』

という意味です。私たちは、この校訓を胸に

どんなことにも誠意をもってがんばろうと努力しています。

JRC活動や委員会活動に力を入れていることも、じまんの一つです。毎週火曜日の朝には、たてわり班ごとに6年生が中心となって奉仕活動を行っています。県庁前やくじゃく小屋前でのあいさつ運動やふんすい公園のゴミ拾いなど、自分たちで活動場所と内容を考えて行っています。

キッズ班活動も、ぼくたちのじまんの一つです。一年を通して、一年生から六年生まででいろいろな活動を行います。班のみんなで話し合い、計画を立てて、遊んだり、話し合いで決めた場所を掃除したりします。特に、春の遠足はみんな楽しみにしています。

これから、おいでになった先生方と一緒に過ごせることが楽しみです。学校のことで分からないことがありましたら、どうぞぼくたちに聞いて下さい。先生方、どうぞよろしくお願いします。



新型コロナウイルス感染症防止を (Vol. 1)

新学期が無事スタートしました。新鮮な気持ちで、これから始まる学校生活に希望をもって過ごしてほしいと思います。そこで、引き続き新型コロナウイルス感染症防止に努めます。ご家庭でもご協力をお願いします。

○ 登校前の健康観察

検温、発熱や咳等風邪の様な症状がないか確認ください。症状がある場合には学校へ連絡をお願いします。

○ マスクの着用や手洗い後のハンカチを忘れずに

※ 今年度、新たにシルバー人材センターから派遣された方が、毎日1時間程度、水道や手すり等の消毒作業を行います。